

平成 28 年第 2 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 6 月 14 日（15 日・16 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	澤野 伸 (誠颯会)	<p>1. 本市の指定避難所の現状と今後の展開は（総務部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>今回の熊本地震では避難所における耐震化は構造部材のみならず非構造部材まで進めなければ、避難所としてその利用ができなくなる現実があった。本市の現状と今後の展開は。</p> <p>2. 本市の少子化問題解決の具体的な手立ては（企画部長・観光経済部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>少子化問題解決の糸口は生涯未婚者の増加を抑えるという観点で、いわゆる婚活について行政でも積極的に取り組んでみてはどうか。また各種団体との連携や本市の具体的な取り組みの考えは。</p>
2	出口 忠雄 (真政会)	<p>1. 可児市観光産業について（観光経済部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>本市策定の「可児市観光グランドデザイン」から観る、計画の実現に向けた取り組みについて伺う。</p>
3	天羽 良明 (誠颯会)	<p>1. 美しい山林保全の在り方</p> <p>（市民部長・建設部長・総務部長・観光経済部長・教育長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>市内各所で道路、歩道、通学路や住宅に樹木が伸びている現状がある。背景には山林所有者の高齢化と相続未登記に起因する土地所有者の不明化がある。現状の問題点と未来を見据えた保全の在り方を問う。</p>
4	大平 伸二 (真政会)	<p>1. 無人飛行機（ドローン）に対する対策と取り組みを問う。</p> <p>（企画部長・総務部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>本市の公共施設（公園を含む）に対して今注目のドローンの飛行に対する対策と市のどの部署で対応するのか？又、無限の可能性と様々な活用性の有るドローンを市として利活用を考えているのかを問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p>1. <u>若い世代を呼び込むために (市長公室長・建設部長・企画部長)</u> <u>一問一答方式</u> 「可児市の地区別人口展望」では、帷子地区は30年後には人口が14796人まで減ると推計された。人口を増やし、増加する一方の空き家問題を解決するために、子育て世代の移住促進策を考えるべきだ。</p> <p>2. <u>子ども・子育て支援事業での環境整備を進めよ (健康福祉部参事)</u> <u>一問一答方式</u> 子ども・子育て支援事業の中で保育・放課後児童健全育成事業は、どちらも待機児が出るほどニーズが高い事業である。待機児の受け入れとともに、子ども達が安全に過ごせるように様々な面での環境整備が必要である。</p> <p>3. <u>結婚相談事業を始めませんか (観光経済部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 岐阜県の「ぎふマリッジサポートセンター」は、市町村の運営する結婚相談所と連携して広域相談事業を支援しているが、本市には、結婚相談所がない。ぜひ、本市も結婚相談所を開設し、結婚相談事業を始めてほしい。</p>
6	川上 文浩 (誠颯会)	<p>1. <u>公職選挙法改正による投票率向上、主権者教育の取り組みは (選挙管理委員会書記長・総務部長・教育長)</u> <u>一問一答方式</u> 本年6月19日に施行される公職選挙法は18歳選挙をはじめ、様々な改正が行われる。これを機に本市として、投票率向上、主権者教育についてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>2. <u>可児駅前線街路事業および可児駅周辺の将来設計は。(建設部長・企画部長)</u> <u>一問一答方式</u> 可児駅前線街路事業の進捗状況はどのようになっているか、また可児駅西の駅前広場整備や市道117号線の道路改良事業、閉館する総合会館分室跡地の今後の利活用について市の考えを問う</p>
7	高木 将延 (誠颯会)	<p>1. <u>可児市観光ランドデザインに示されたゴルフツーリズムについて (企画部長・観光経済部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 可児市観光ランドデザインに示されたゴルフツーリズムに関しゴルフ人口増加を見据えた今後の方向性と、具体的な展開について問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
8	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p>1. <u>災害廃棄物処理計画の策定について (市民部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 東日本大震災や広島の土砂災害、4月に発生した熊本地震など膨大な災害廃棄物をもたらす大規模な自然災害が頻発している。本市における災害廃棄物処理計画の策定状況を問う。</p> <p>2. <u>食品ロス削減に向けての取り組みについて</u> <u>(教育委員会事務局長・市民部長・総務部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 「食品ロス」は、日本では約642万トンと推計されている。学校給食や食育・環境教育を通して、また、市民、事業者が一体となって食品ロス削減に取り組むことが重要である。本市の取り組みを問う。</p>
9	板津 博之 (誠颯会)	<p>1. <u>南海トラフ巨大地震への備えは万全か</u> <u>(総務部長・建設部長・教育長)</u> <u>一問一答方式</u> 熊本地震では、熊本県益城町で最大震度7の揺れを2度も記録し想定外の被害をもたらした。この地域においては、南海トラフ巨大地震が30年以内に発生する確率が70%程度と予測されている。本市の備えは万全か。</p> <p>2. <u>キッズクラブのあるべき姿とは (健康福祉部参事)</u> <u>一括答弁方式</u> 小学校6年生までを対象に運営しているキッズクラブにおいて、今年度は高学年で待機児童が出たとのことである。施設や指導員の不足が原因と考えられるが、夏季休暇に向けた今後の対策について問う。</p>
10	渡辺 仁美 (市民の声)	<p>1. <u>小学校での英語活動と児童の持つ適応能力について (教育長)</u> <u>一問一答方式</u> 本市の数ある学校教育事業の中で、小学校における英語活動についてはどのような展望で取り組んでいるのか。前年度まで実施されてきた2校での取り組みを評価するとともに今後の展開に期待するところである。</p> <p>2. <u>子どもが育つ上で住みよい可児市であるために</u> <u>(健康福祉部長・健康福祉部参事)</u> <u>一問一答方式</u> 各地で子ども食堂という活動が起きている。有志による福祉目的で下校後温かい夕食を摂るのが困難な児童等へのサポートがされる。真の住み心地一番の子どもを育てやすい環境を整える事業をどう展開していくのかを問う</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
11	山根 一男 (市民の声)	<p>1. <u>災害ボランティアセンター等に関する課題 (総務部長・健康福祉部長)</u> <u>一問一答方式</u> 熊本地震でも被災地各所の災害ボランティアセンターの役割が増している。当市においてはアーラに設置することになっている。支援物資に関しては可児ッテに集約されることになっているが、問題はないか。</p> <p>2. <u>可児市の農業の現状と課題 (観光経済部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 全国的な課題ではあるが、可児市の農業の担い手の高齢化が進んでいる。また、耕作放棄地の増加傾向にも歯止めがかからない。市としてできることはないのか。</p>
12	田原 理香 (誠颯会)	<p>1. <u>介護予防・日常生活支援総合事業において、可児市の方針と具体的な施策について問う。(健康福祉部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 介護保険制度の改正により、新制度では要支援1、2の方々の介護予防や生活支援などが担えなくなった。国は、「地域での支えあい」を求めているが、可児市は総合事業としてどう対応策をとるのか。</p> <p>2. <u>地域支え愛ポイント制度について (市民部長)</u> <u>一括答弁方式</u> 地域支え愛ポイント制度は3年間をモデル期間とし、検証を重ね順次拡大する予定だが、今年度が最終年度になった。これまでの検証結果とアンケート調査結果から、今後の展開は？</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
13	伊藤 健二 （日本共産党 可児市議団）	<p>1. <u>地震防災対策の充実を（総務部長）</u> <input type="checkbox"/>一括答弁方式 最大震度7が連続した熊本地震が起き被害は甚大。被害想定と避難所の体制についてこの地震から学び、可児市地域防災計画（最新版）に活かす内容を問う。</p> <p>2. <u>木造住宅の簡易耐震診断制度の新設・普及を（建設部長）</u> <input type="checkbox"/>一括答弁方式 浅い地層での直下型地震で多くの家屋が倒壊した。平成12年以前の木造家屋は「揺れとねじれ」に弱く、住屋の簡易耐震診断対策の飛躍が必要だ。担当部の決断を問う。</p> <p>3. <u>合特法問題を見直す考えは（市民部長）</u> <input type="checkbox"/>一括答弁方式 グラドルールによる期限が迫っている。自治法に違反する多額な随意契約を漫然と締結せず、転換業務も抜本的に見直す考えはないか問う。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。